



# (ご参考資料) 当社におけるデータ利活用

株式会社マネーフォワード  
取締役執行役員  
Fintech研究所長 瀧 俊雄

2018.9.20

# 主要サービス一覧

BtoC(個人向け)・BtoB(法人向け)の両領域でサービスラインナップを拡充。

## BtoC領域

PFM\*1サービス



自動家計簿・資産管理サービス



くらしの経済メディア



金融サービスの比較・申込みプラットフォーム

## BtoB領域

MFクラウドサービス



事業者向けSaaS\*2型サービスプラットフォーム

MFクラウド 会計 MFクラウド 確定申告 MFクラウド 請求書

MFクラウド 給与 MFクラウド 経費 MFクラウド 消込

MFクラウド マイナンバー MFクラウド ファイナンス



自動記帳ソフト



経営分析クラウド

新規サービス



自動貯金アプリ



お金の相談窓口



企業間後払い決済サービス

\*1 PFM : Personal Financial Managementの略称

\*2 SaaS : Software as a Serviceの略称

# 自動家計簿・資産管理サービス『マネーフォワード』

2

家計簿アプリシェアNo.1。利用者数は650万人を突破し、家計簿アプリ利用者の約4人に1人は『マネーフォワード』を利用。

対応数No.1(\*) 2,650以上の金融関連サービスに対応。  
口座一括管理で自動で家計簿作成

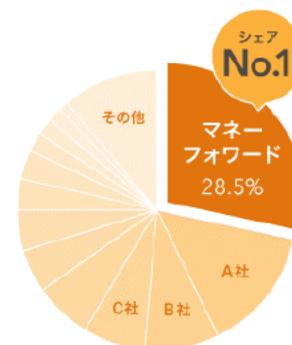


\*自社調べ、2018年6月30日現在

## 利用者数およびシェア



シェア



出所：2017年03月23日～2017年3月27日、楽天リサーチ  
「現在利用している家計簿アプリ」  
調査対象者：20～60代家計簿アプリ利用者685名

# 金融サービスの比較・申込みプラットフォーム 『Money Forward MALL』

3

クレジットカードや証券口座など、あらゆるお金のサービスを比較・検討し、申し込みができるサービス



# 人生を楽しむ貯金アプリ『しらたま』

4

「日々の生活をもっと楽しく、ちょっとだけ贅沢に」（しら）ずにお金が（たま）る自動貯金アプリ。2018年5月にはAndroid版もリリース。



# “未来のおかね”を学べるお店『mirai talk』

5

『mirai talk』1号店を新宿にオープン。『マネーフォワード』のデータと、FPの知見を組み合わせ、「お金の体質改善」を目指してライフプランや家計改善アドバイスを提供。

**mirai talk**

なぜか貯まらない  
赤字家計から、  
しっかり貯まる  
かしこい家計に!

本気で家計を変えたい人へ。

新・貯まる家計養成プログラム

12万円以上の  
家計改善を  
保証! ※

※ 改善保証はスタンダードコース、コンプリートコースが対象です。初回家計診断でお客様ごとの改善保証額を決定します。保証内容および保証条件についてはお問い合わせください。

# SaaSプラットフォーム『MFクラウドシリーズ』

6

バックオフィス業務における領域を包括的にカバーするサービスを提供する企業向けSaaS(\*)型サービスプラットフォーム。



MFクラウド 会計・確定申告 / MFクラウド 請求書 / MFクラウド 給与 / MFクラウド マイナンバー

MFクラウド 消込 / MFクラウド 経費 / MFクラウド ファイナンス

クラウドコンピューティングの普及を背景に、これまで多額の初期投資を必要としていたシステムをSaaS形態で提供することで、小規模事業者から大企業まですべての事業者へITの恩恵をもたらします。

# 企業間後払い決済サービス『MF KESSAI』

7

企業の請求回収代行業務の完全なアウトソーシングと資金繰りの改善を実現するサービス。2017年6月リリース。

## ①請求内容の入力



利用企業様側で請求内容を入力。

## ②審査後、請求内容の確定



最短数秒で審査が完了し  
入金金額・入金時期をお知らせ。

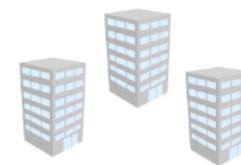
## ③請求書発行・送付



請求書の発行、  
お取引先様へ送付も代行。



MF KESSAI



## ⑤売上入金・入金管理



入金期日に利用企業様へお支払い。  
100%入金保証。早期入金にも対応。

## ④代金回収



MF KESSAIがお取引先様から  
代金を回収。

## (新規事業)マネーフォワードファインの設立

8

”AI融資審査モデル”の開発に着手。2019年春頃よりオンライン融資サービスを試験的に提供し、将来的な金融機関との協業を目指す。

会計・請求書データを活用した”AI融資審査モデル”を開発



# 金融機関との連携強化(API連携)

API接続先金融機関数は順調に増加。『未来投資戦略2017』においては2020年までに80行以上の銀行におけるAPI導入が目標。

|    | 金融機関名      | 開始時期                                  |
|----|------------|---------------------------------------|
| 1  | 住信SBIネット銀行 | 2016年3月(個人・法人/参照系) 2017年3月(個人・法人/更新系) |
| 2  | 静岡銀行       | 2016年4月(個人/参照系)                       |
| 3  | 群馬銀行       | 2016年6月(個人/参照系) 2018年3月(法人/参照系)       |
| 4  | みずほ銀行      | 2016年10月(法人/参照系) 2017年3月(法人/更新系)      |
| 5  | セブン銀行      | 2017年1月(法人/参照系) 2017年11月(法人/更新系)      |
| 6  | 愛知銀行       | 2017年2月(個人・法人/参照系)                    |
| 7  | 三井住友銀行     | 2017年3月(法人/参照系・更新系) 2017年7月(個人/参照系)   |
| 8  | みなと銀行      | 2017年4月(法人/参照系)                       |
| 9  | ジャパンネット銀行  | 2017年8月(個人・法人/参照系)                    |
| 10 | みちのく銀行     | 2017年12月(個人/参照系)                      |
| 11 | 三菱UFJ銀行    | 2018年2月(個人・法人/参照系) 2018年4月(法人/更新系)    |
| 12 | 栃木銀行       | 2018年3月(個人/参照系)                       |
| 13 | 千葉銀行       | 2018年4月(個人/参照系)                       |
| 14 | 北洋銀行       | 2018年4月(個人/参照系)                       |
| 15 | 大光銀行       | 2018年5月(個人/参照系)                       |
| 16 | 京葉銀行       | 2018年6月(個人/参照系)                       |

『マネーフォワード for ○○』 『かんたん通帳』 の利用先がさらに拡大。

『マネーフォワード for ○○』 :  
金融機関お客様向けマネーフォワードを開発



『かんたん通帳』 :  
金融機関お客様向け通帳アプリを開発



『MFUnit』 シリーズ :  
金融機関の既存アプリにPFMの各機能を提供

『資産管理Unit』



『記事配信Unit』



# 金融機関との連携強化(MFクラウドサービス)

11

北洋銀行のお客様向け確定申告サービスを提供開始。

『MFクラウドファイナンス』：MFクラウドのデータを活用し資金調達をスムーズに実現するサービス



『MFクラウド会計・確定申告for BANK』：金融機関のお客様向け会計・確定申告サービスを開発



## よくある誤解

誤 データがあるからよいユーザー体験が提供できる

正 ユーザー体験が蓄積される過程で、データが蓄積される

誤 最先端の技術がユーザー体験を生む

正 新旧技術の組み合わせで、ユーザーペインの解決方法を模索している

誤 ITプラットフォームは〇〇サービスを不要とするのではないか

正 学習や努力を伴う行動変容を促すことは不得手

## 今後に向けて

- 個人の資産形成・安心を形成する行動変容とは
- ビジネスの持続的な収益向上につながる経営判断・働き方とは
- フロントエンドで顧客を深く理解し、ファーストステップを実現するサービスを提供とは
  - それは「金融」サービスである必要はあるか